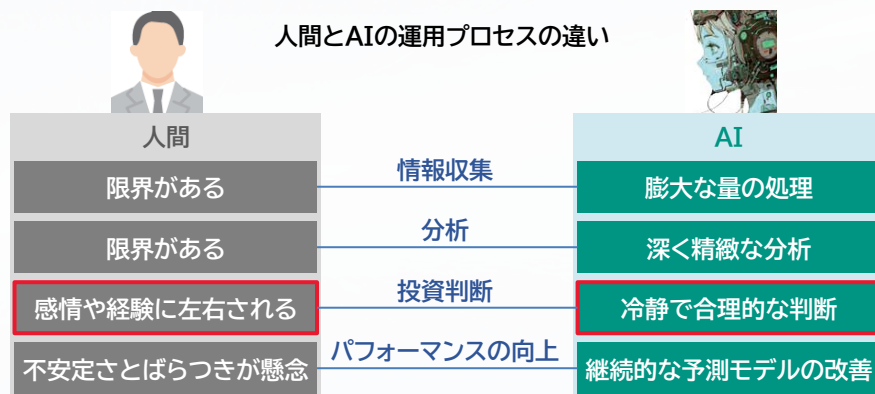


行動経済学から考えるAI運用の必要性

ROBOPROファンド 追加型投信/内外/資産複合

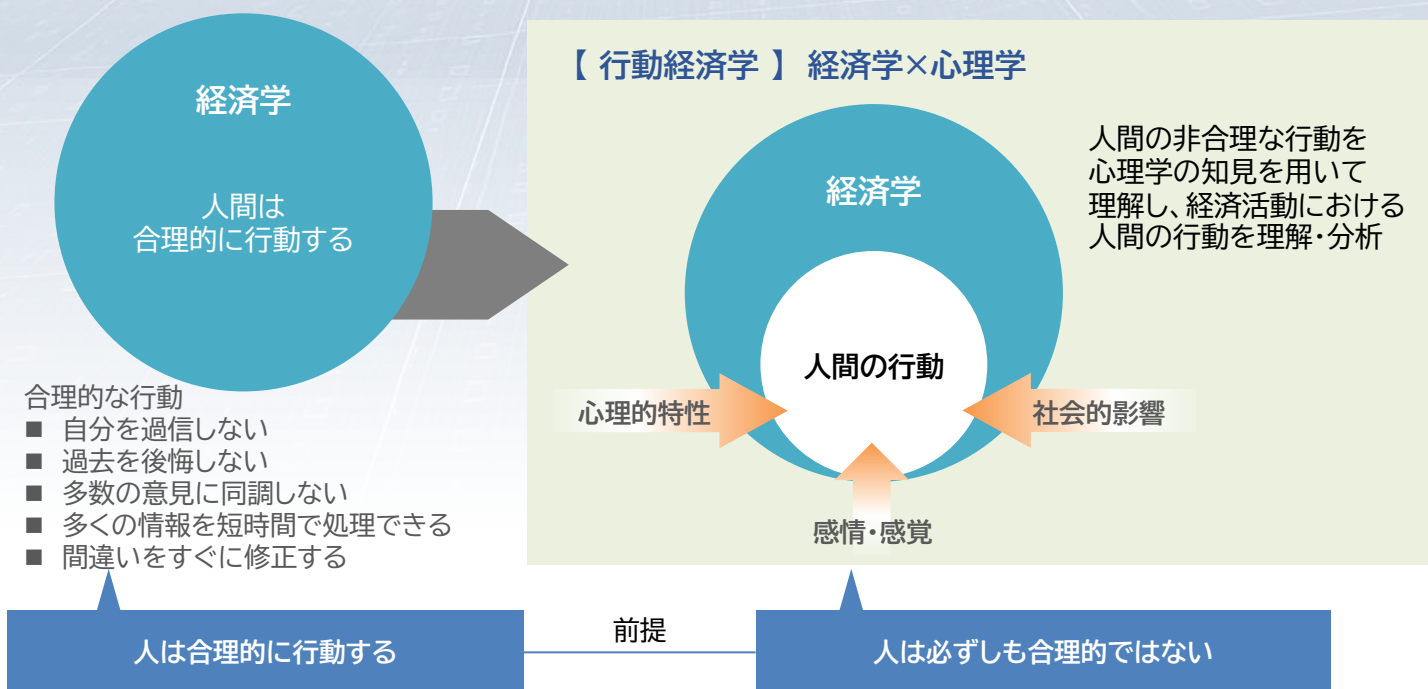
ROBOPROファンド の強み

AIを活用することにより、人間には限界がある運用プロセスをハイレベルで実現することが期待されます。特に投資判断の際に、人間に大きな影響を与えるのが「感情や経験に左右される」という傾向があり、行動経済学で示されています。AIは「冷静で合理的な判断」が可能になります。



行動経済学とは

行動経済学は、従来の経済学が前提とする「人間は合理的に行動する」という仮定に対し、「人間は必ずしも合理的ではない」という視点を取り入れています。人間の心理的な特性や感情、社会的影響が経済的な意思決定に与える影響を考慮することで、より現実的な経済現象の分析や予測が可能になります。



ダニエル・カーネマンの登場で一躍注目を浴びた行動経済学

行動経済学は、こうした非合理的な側面を体系的に分析し、より現実 に即した経済モデルの構築を目指しています。この分野を切り開いたのが、2002年にノーベル経済学賞を受賞したダニエル・カーネマン氏です。彼は心理学者でありながら、経済学に大きな影響を与えた人物で、特に「プロスペクト理論(Prospect Theory)」は行動経済学の基礎理論として広く知られています。



※イメージ図

(出所)各種資料よりSBI岡三アセットマネジメント作成

「プロスペクト理論」とは

コインを投げて、表か裏かを選ぶゲームです。

ルールA

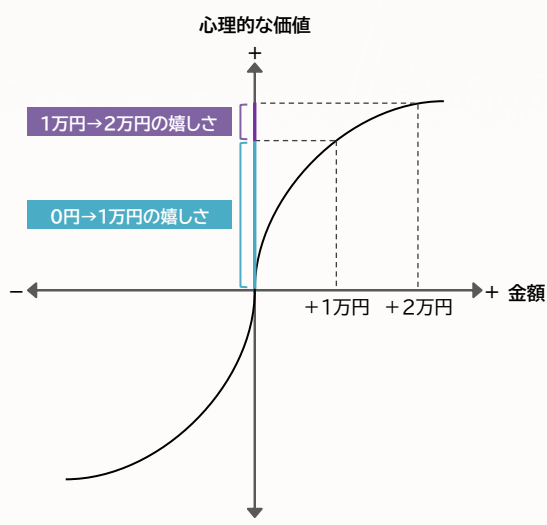
- ① 表が出たら2万円もらえます
- ② 裏が出たら何ももらえません
- ③ 参加しない場合は無条件に1万円がもらえます

この場合、多くの人がゲームに参加せず、無条件で1万円を受け取る傾向があるようです。50%の確率で何も得られない可能性があるため、確実に1万円を受け取りたいと考えるのは自然なことと言えます。

一方で、参加するか否かにかかわらず、期待値(受け取る金額×確率)は同じであるため、金銭的な合理性の面では両者に差はありません。

参加した場合 : $2万円 \times 50\% = 1万円$
 参加しなかった場合 : $1万円 \times 100\% = 1万円$

図で解説



「0円から1万円を得る嬉しさ」は、「1万円から2万円を得る嬉しさ」よりも大きく感じられる傾向があります。そのため、期待値はどちらも同じですが、心理的な価値では「確実にもらえる1万円」の方が高く評価されることが多いです。

ルールB

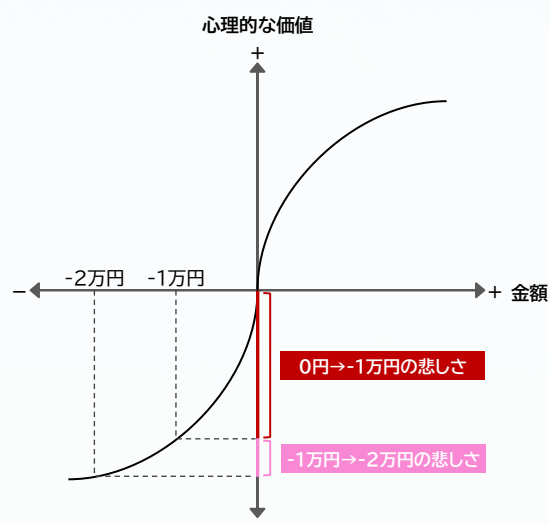
- ① 表が出たら2万円支払います
- ② 裏が出たら支払いは無しです
- ③ 参加しない場合は無条件で1万円が没収されます

この場合、多くの人がゲームに参加し、無条件で1万円を没収されることを避けようとする傾向があるようです。確実に1万円没収されるくらいなら、損失が回避できる50%の可能性にかけたいと考える人が多いのは自然なことと言えます。

しかし、こちらも支払う金額の期待値(支払う金額×確率)は参加の有無にかかわらず同じになります。

参加した場合 : $-2万円 \times 50\% = -1万円$
 参加しなかった場合 : $-1万円 \times 100\% = -1万円$

図で解説



「0円から-1万円になる悲しさ」は、「-1万円から-2万円になる悲しさ」よりも強く感じられる傾向があります。そのため、期待値はどちらも同じですが、心理的な価値としては「確実に失う1万円」の方が、より大きな痛みを伴うと評価されます。

プロスペクト理論は、人は利益よりも損失を回避することに強く反応し、利益や損失が大きくなるほど感情の強さが鈍化する傾向があることなどを説明しています。

人はバイアスがあるから、合理的な行動を取れない

人は意思決定に関して、合理的に判断しようと努めますが、実際は常にそうした行動を取れるわけではありません。その背景には「非合理的なバイアス」と呼ばれる心理的な偏り(偏見や先入観など)が存在します。これが意思決定に影響を与えることで、人は合理的ではない選択をしてしまうことがあるのです。

代表的な非合理バイアスと関連する投資行動

1	自信過剰	自分の短期的な選択に自信を持ち過ぎて過剰に取引する。
2	後悔回避	後悔するのが嫌で損切りできない。
3	損失回避	利益と損失では同じ金額でも損失の方が大きく感じる。
4	メンタルアカウンティング	お金に色を付けてみてしまう。
5	主観確率	めったに起こらないことをもっと起こると感じる。
6	決定麻痺	選択の際に多すぎる情報を与えられると決定できなくなってしまう。
7	群集心理	自分の投資判断なのに、周囲の多数意見に同調してしまう。
8	保有効果	自分が保有しているものに高い価値を感じて、売りにくくなる。
9	アンカリング	判断に無関係な数字に影響を受けてしまう。「高値覚え」の原因。
10	認知的不協和	自分の判断に反する事実から目をそらし、都合の良い思い込みを続ける。
11	現状維持	合理的には変えたほうが良くて、現状維持を選んでしまう。
12	双曲割引	短期的な利益を過剰に求めてしまう。ダイエットが難しい理由の一つ。

<参考>行動経済学の観点から振り返る2024年8月の日経平均株価下落局面

2024年8月、日本株は急落し、日経平均株価は過去最大の下落幅を記録しました。背景には、米国の雇用統計の悪化による景気後退懸念、日銀の利上げによる円高進行、中東情勢の緊迫化などが重なったことが挙げられます。このような急激な相場変動の中で、多くの個人投資家は「ダルバー効果」や「認知的不協和の回避」といった行動経済学で説明される心理的バイアスに直面しました。

昨夏の日経平均株価の推移

(期間 2024年7月1日～2024年9月30日、日次)



ダルバー効果



投資家が市場の変動に過剰に反応し、感情的な判断によって非合理的な売買を繰り返すことで、長期的な運用成績が悪化する現象を指します。例えば、相場が上昇すると焦って高値で買い、下落すると恐怖から安値で売ってしまうなど、タイミングを誤った取引が原因です。これは行動経済学で説明される典型的な心理的バイアスの一つです。

認知的不協和

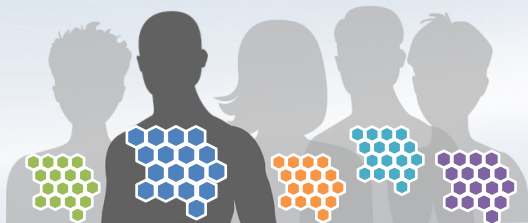


自分の行動や判断が理性と矛盾する際に生じる不快感を指します。投資においては、損失を出した後に「売って正解だった」と思い込むために、自分に都合の良い情報ばかりを集めるなど、過去の判断を正当化しようとする行動が見られます。これも行動経済学で説明される心理的メカニズムです。

(出所) Bloombergデータ、各種資料よりSBI岡三アセットマネジメント作成

バイアスを乗り越えるためのコミットメント・デバイス

非合理的なバイアスを持っている人 = 普通の人



非合理的なバイアスは、人に根源的に備わっているものです。こうしたバイアスを持っていることは、むしろ「普通の人間」であることの証です。私たちは皆、完璧な合理性を持っているわけではなく、感情や直感、過去の経験、周囲の影響などに左右されながら意思決定をしています。これは欠点ではなく、人間らしさの表れでもあります。

バイアスをコントロールする必要がある



普通の人を持っているバイアスをコントロールする手法のひとつに、コミットメント・デバイスがあります。

これは、自らの将来の行動を制約する仕組みをあらかじめ設けることで、非合理的な選択を避け、望ましい行動を促す方法です。

投資におけるコミットメント・デバイスの一例

AI運用



投資判断を膨大な情報処理が可能なAI(人工知能)に任せることで、人間の非合理的なバイアスを排除しようとするアプローチです。

システム運用



投資の判断を人に任せるのではなく、あらかじめ定めたルールに従って機械的に売買する運用手法です。

積立投資



感情や市場動向に左右されず、毎月一定額を決まった日に自動的に投資することで、長期的な資産形成を可能にします。

(出所)各種資料よりSBI岡三アセットマネジメント作成

販売会社一覧 (2025年9月30日)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	日本証券業協会	加入協会		
			一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	関東財務局長(金商)第8号	○		○	
OKB証券株式会社	東海財務局長(金商)第191号	○			
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
おきぎん証券株式会社	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
九州FG証券株式会社	九州財務局長(金商)第18号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
大和証券株式会社	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
中銀証券株式会社	中国財務局長(金商)第6号	○			
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
ひろぎん証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社あいち銀行	東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社イオン銀行(委託金融商品 取引業者: マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社池田泉州銀行	近畿財務局長(登金)第6号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品 取引業者: マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社愛媛銀行	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社鹿児島銀行(委託金融商品 取引業者: 九州FG証券株式会社)	九州財務局長(登金)第2号	○			
株式会社紀陽銀行	近畿財務局長(登金)第8号	○			
株式会社三十三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社荘内銀行	東北財務局長(登金)第6号	○			
株式会社大光銀行	関東財務局長(登金)第61号	○			
株式会社中国銀行	中国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社東和銀行	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社トマト銀行	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社肥後銀行(委託金融商品取 引業者: 九州FG証券株式会社)	九州財務局長(登金)第3号	○			
株式会社広島銀行	中国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社北都銀行	東北財務局長(登金)第10号	○			
株式会社宮崎太陽銀行	九州財務局長(登金)第10号	○			

※大和証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

留意事項

SBI岡三アセットマネジメントについて

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

投資リスク

■投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式、国内外の債券、国内外の不動産投資信託証券、コモディティ等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

■ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク(価格変動リスク、分配金(配当金)減少リスク)」、「コモディティのリスク」があります。その他の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

その他の留意点

■ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

■ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。

■取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

お客様にご負担いただく費用

<お客様が直接的に負担する費用>

■購入時

購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

■換金時

換金手数料 : ありません。
信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■保有期間中

運用管理費用(信託報酬) : 純資産総額×年率1.562%(税抜1.42%)

■その他費用・手数料

監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)

■有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。投資するETF等には別途費用がかかります。これらの投資に伴う費用は投資するETF等、保有期間、配分比率等に応じて異なりますので、事前に合計金額や上限額を示すことができません。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料に関して留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>